ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	NO.BV-4(宿2号)	調査位置				北　緯	36 ° 41 ’ 19.0000 ”
発注機関	栃木県烏山土木事務所			調査期間	2008-11-27 ～ 2009-03-10	東　経	140 ° 05 ’ 58.0000 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	136.71 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	11.28 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1	135.91	0.80	0.80		表土 (SF)	暗褐		軟らかい	上位0.2m腐食土、以下礫混じり粘土。軟質。含水比高位。			1.15	2	2	4	8／30	8			1.15	1	A		
	135.31	0.60	1.40		礫混り粘土 (CH-G)	暗褐			礫径10から30mm混入。含水比高位。軟質。			1.45								1.45				
2	134.21	1.10	2.50		粘土質砂礫 (GSC)	暗褐灰	中ぐらい		礫径10から50mm主体。間隙に粘土分を多く含む粗粒砂充填。含水比は中位。やや軟質。			2.15	8	9	7	24／30	24			2.15	2	A		
												2.45								2.45				
3					粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐灰	密な		礫径10から50mm主体。間隙に粘土分を含む粗粒砂充填。礫種は円・亜円・風化礫主体。全体的に締まる。最大礫径70mm。含水比は中位から高位。			3.15	12	16	18	46／30	46			3.15	3	A		01/30
												3.45								3.45				
4												4.15	13	22	15／6	50／26	>50			4.15	4	A		
												4.41								4.41				
5											02/02 5.60	5.15	13	19	18	50／30	50			5.15	5	A		
												5.45								5.45				
6	130.11	4.10	6.60									6.15	10	13	19	42／30	42			6.15	6	A		
												6.45								6.45				
7	129.41	0.70	7.30		粘土質砂礫 (GSC)	淡褐灰	中ぐらい		礫径10から40mm主体。間隙に粘土分を多く含む粗粒砂充填。含水比高位。			7.15	5	8	14	27／30	27			7.15	7	A		
	129.01	0.40	7.70		粘土質砂 (SC)	淡褐灰			少量の礫を混入。固結する			7.45								7.45				
8					粘土混り砂礫 (GS-C)	淡褐灰	密な		礫径10から40mm主体。間隙に粘土分を含む粗粒砂充填。含水比は中位から高位。7.90から8.90m間、砂分多い。8.90mより固結粘土分多い 9.75mより砂分多い。全体的に凝灰質を呈し固結する			8.15	16	26	8／2	50／22	>50			8.15	8	A		
												8.37								8.37				
9												9.15	9	10	13	32／30	32			9.15	9	A		
												9.45								9.45				
10												10.15	11	25	14／5	50／25	>50			10.15	10	A		02/02
												10.40								10.40				
11	125.43	3.58	11.28									11.15	29	21／3		50／13	>50			11.15	11	A		02/03
												11.28								11.28				